

各2点×10

問一	(二)	工	(三)	①	ウ	②	カ	③	ア
問二	(二)	あ 伝承合ウカ		い 言語文化					
	(三)	う 話すこと・聞くこと		え 書くこと		お 読むこと			
	(三)	工							

20点

各2点×20

問一	(二)	いしや	(三)	れんびん	(三)	二んしゅう	(四)	けけん	(五)	あんたん
問二	(二)	不朽	(二)	穩健	(三)	警鐘	(四)	腐心	(五)	意匠
問三	(二)	快刀	乱麻	(三)	有為	輕變				
問四	(二)	カ	(二)	イ	(三)	オ				
問五		ア		オ						
問六	A	田山花袋			B	工				
問七		工								

40点

問一		ア	4点	
問二	(二)	本屋宣長		(二)4点 (三)8点
	(三)	当時、強固に根づいていた中国古典に對抗して、本源的なものを探究して日本の古典に立ちかえり、新たな規準を形成したから。		
問三		オ	4点	
問四	(二)	工	(二)4点 (三)8点	
	(三)	日本の文化に規準や形式性を賦与したのは外国であり、外来の形式への反発から内発的で無定形なものに行きついたということ。		
問五		古代、最新の文化として撮し、今として		
		れ、外来文化を後に排除したのも、今の古い離る日本人の歴史的習性に根ざすものだから。		

40点 (問一～問五)

100点

得点
その一
受験号
受番号

8点

三	問六	筆者は古典離れは日本人の歴史的習性による
		と述べるが、私は日本人は伝統や古いものへの
		の愛着や憧憬も強いと思う。伝統的な祭や寺
		社に多くの人々が集うのは、生活様式が大き
		く変容しても根源的に変わらない何かを確認
		するためではなからうか。だとすれば古典離
		れは、根源的なものに触れられていないため
		生じているといえる。私は、教員として、古
		代から現代につながるものの方、感じ方や
		現代に生きる先人の知恵など、現代に根ざし
		未来につながるものを意識して、古典に向き
		合い、生徒とともに古典に親しんでいきたい
と考えている。	250 10点	

200

四	問一	㉔ ア	㉕ ウ	各3点×2	
	問二	オ	5点		
	問三	生活の行き詰まりへの懸念や妄想を紛らわす			
		ための釣りまでも終えざるを得ないことへの			
	絶望的な心情。		8点		
	問四	ウ	オ	各4点×2	
	問五	イ	5点		
	問六	経済的な困窮から肉体的にも精神的にも追いつ		10点	
詰められ、死を考えるものの、子らを巻き添					
問七	えにしてはならないと耐えている状態。				
	嫌悪感	4点			
問八	たる感じはなかった。	4点			

三 (問六)

10点

四

50点

得点
その二

60点

受験
番号

五	問一	④ 才	⑤ イ	各2点×2		
	問二	⑦ 現在推量の助動詞「らむ」の終止形				各2点×2
		④ ニク活用の形容詞「くちま」の未然形活用語尾の一部と推量の助動詞「む」の終止形				
	問三	① 全てが現代風(「華やかに」)に見えるのであろうか				6点
		③ 出家なさってしまった				4点
		④ 並一通りではなく、美しく成長しなせるので				6点
	問四	工	4点			
	問五	小舎人童と女童(少女)が互いに愛情を感じ心を痛めること。				6点
問六	才	から	ゆ	へ	3点(完答)	
問七	姫君が結婚すること。			5点		
問八	姫君の御容貌は全ての煩わしさも慰めてく				8点	
	るほどに美しいのに、小舎人童がそれを懸念					
					五	
					50点	

六	問一	④ ア	⑤ 工	各2点×2		
	問二	① 羊名子	⑤ 羊	各3点×2		
	問三	② 村人に受け入れられるために、羊を受け取った方がよい。				各5点×2
		④ 子供は大人に教化されて育つので、不正に得た肉を子供に食べさせてはいけない。				
	問四	明	不	子	3点	
	問五	私は羊を受け取ったが、決して食べてはいない。				5点
	問六	工	4点			
問七	・一度は贈り物の羊を受け取らせ、夫と村人との親和を図った点。				各4点×2	
	・受け取った羊を食べないで埋めさせ、盗みへの関与を疑われないようにした点。					

六

40点

各5点×2

250点

得点計

90点

得点その三

受番

験号